

令和6年度事業計画書(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

【はじめに】

2023年5月31日に厚生労働大臣名にて「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部改正」が公表されました。これにより本年4月1日から「健康日本 21(第三次)」がスタートいたします。

第三次計画では「女性」の分野が新設され、また、「個人の行動と健康状態の改善に関する目標」のうち、生活習慣病の発症予防・重症化予防として『骨粗鬆症検診受診率15%』が目標値と設定されました。

そこで骨粗鬆症財団では、令和6年度以降の事業計画には、「健康日本21(第三次)」の基本方針である“一次予防の重視”を念頭に、目標達成に向けた具体的な行動を盛り込んでいく所存です。

更に、第三次計画では理念として、「自然に健康になれる環境づくり」が掲げられましたが、骨粗鬆症検診で言えばすべての自治体で検診が実施され、対象者が希望すれば全員受診できる環境が整備されることが必要です。地域で世界骨粗鬆症デーのような啓発活動が実施されていることも市民の関心促進に寄与する役割を果たします。骨粗鬆症財団では検診を含めた自治体や地域の健康づくり施策の一助となるべく情報や資料の提供を行っていく予定です。

【公益目的事業】

(1) 普及・啓発事業

イ) 骨粗鬆症に関する啓発資材・資料の作成と配布

既存資材;

- ・紙資材の提供は実費負担をお願いする
- ・既存資材をスライドショーなどに再編成し、動画化してYou Tube投稿
- ・『骨粗しょう症連携手帳』 新版PDF

新規資材;

- ・小学生など低年齢層向け啓発資材や教育・指導用資材(※日本宝くじ協会助成案件)

ロ) 広報①: ホームページ、You Tube、SNSによる情報発信

ホームページ;

- ・コンテンツの精査と充実(特に「Q&A」ページの見直し)
- ・「病医院紹介ページ」の充実、骨を守る会の紹介
- ・体験談、連載コラムなど

You Tube、SNS;

- ・世界骨粗鬆症デーに関する発信(世界骨粗鬆症デーイベントを実施している団体を紹介等)
- ・投稿用動画作成(料理コンテンツ等)

広報②: マスコミ(新聞・雑誌・テレビ・プレス発信媒体)等の利用

- ・ニュースリリース配信サービス(PRタイムズ等)
- ・『OPJリエゾン』(ライフサイエンス社発行)の編集協力; 財団活動紹介ページ

ハ) 検診に関する取り組み

- ・令和4年度厚労科研費「骨粗鬆症検診マニュアル作成に向けた研究」(田中班)オブザーバー
- ・各自治体の検診事業協力
- ・検診実施に関する実態アンケートやオンラインセミナー
- ・検診率15%達成に向けたシンポジウムの開催(第26回日本骨粗鬆症学会)

ニ)世界骨粗鬆症デー(WOD)キャンペーン

①財団主催イベント(共催含む)

- *金沢市、松本市、呉市、大阪市、山武市、豊島区、名古屋市、府中市、直方市 等
(資材配布、ライトアップ、キャンペーンバナーの掲示、広告、測定体験、講演会等)
- *新規参入自治体及び団体を開拓

②広報

- *WODポスター2024 配布
- *駅や交通機関などのデジタルサイネージ(電子ディスプレイ)掲示
- *SNSによる発信(共通のハッシュタグによるキャンペーン)
- *ブルーライトアップの全国展開
- *IOFとの協力(サイト上でのイベント紹介)

③他健康施策団体・自治体・医療機関へのWOD啓発

- 各施設・エリアのイベントを骨粗鬆症認定医・骨粗鬆症マネージャー・健康施策担当者らが
中心となって自主的に開催する流れを広げていく目的
- *全国の骨粗鬆症マネージャー連携会への呼びかけ
- *WOD紹介スライド、イベント等で使用可能な素材データ提供
- *実施団体をSNS等で紹介

④日本骨粗鬆症学会と協同のWOD広報

- *第26回日本骨粗鬆症学会におけるシンポジウム開催
(テーマ「骨折予防に向けた啓発活動 ～WOD活動の果たすべき役割と成長期の骨量獲得から妊娠期までの課題と対策」)
- *学会員へのメッセージ配信(メーリングリスト)

ホ)骨量測定拡大キャンペーン

- ・QUSによる骨量測定体験会
小～中規模会場での骨量測定体験会や健康度チェックなどの実施
- ・他の団体、企業、学校等が実施する骨量測定体験会を支援
「企業による社員健康診断」「訪問介護ステーション」を会場にした測定会等
- ・文京区・豊島区等主催イベントブース参加
- ・小学生、中学生など低年齢層向け啓発活動(学校教育、教職員向け啓発含む)

ヘ)「女性の健康週間」「女性の日」キャンペーン

- ・財団主催イベント(共催含む)
 - *大阪市、文京区(資材配布、測定体験、講演会等)
 - *オンライン講演会

ト)「骨を守る会」の支援・連携の拡大

- ・全国「骨を守る会」連合会 開催
- ・各地域の「骨を守る会」によって実施されている市民啓発活動、WOD活動の支援
- ・各地域の「骨を守る会」に対し活動資金を助成
- ・第26回日本骨粗鬆症学会におけるポスター展示

チ)セミナー・講習会の開催

- ・骨量測定法講習会「精度よくDXAで骨量を測るためのe-ラーニング」(You Tubeにて公開中)
- ・教育ゼミナール『『骨粗鬆症 予防と治療ガイドライン』の読み方』

(2)研究助成事業

- イ)令和5年度研究助成 報告書作成
- ロ)研究助成事業 検討

(3)調査・研究事業

- イ)A-TOP研究(JOINT研究(02、03)での被験者データ)を用いた高齢者の病態の多様性
論文投稿準備
※国際老年病学会(2023年6月13日～15日:横浜)で報告(発表者:田中伸哉先生)
- ロ)年度別骨粗鬆症検診率(全国・各都道府県)の公表
厚生省公表の全国骨粗鬆症検診実施データを活用し、自治体単位での骨粗鬆症検診の実施率を調査、同じ手法で毎年同様の実施率を公表する
- ハ)大腿骨近位部骨折数全国調査
継続の検討(手法、担当者、時期、その他)
- ニ)『骨粗鬆症 予防と治療ガイドライン』制作

(4)情報収集&国際交流

- イ)IOFとの情報交換と連携
Board meeting/CNS Villageへの出展(事務局)
WCO-IOF-ESCEO 2024、Regional Asia-Pacific Conference
- ロ)行政情報収集&ロビー活動
厚生労働省健康局 がん対策・健康増進課 WOD等イベントの後援申請
健康日本21推進全国連絡協議会など関係団体との情報交換

(5)その他

【収益事業等】

- イ)著作権関連事業
「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」など骨粗鬆症財団が有する著作物を営利目的で使用する場
合の譲渡又は提供

【その他】

- イ)賛助会員増強や寄附金募集の推進
賛助会員の新規加入や寄附金の獲得に引き続き努める